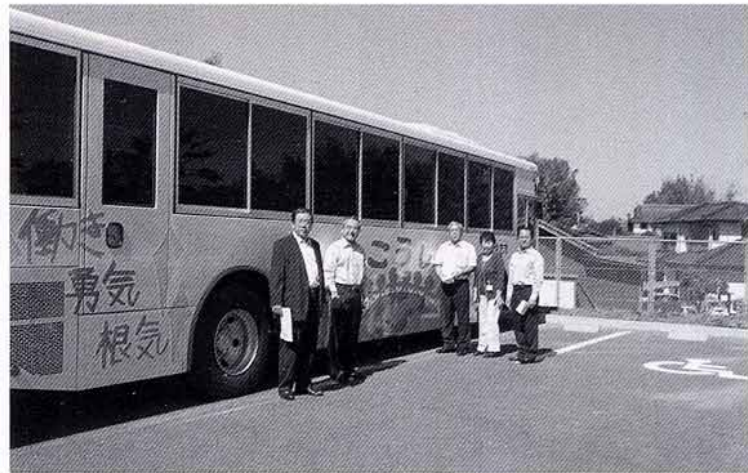


文教常任委員会



合志小のスクールバス

【ウィーブル】条例の一部を改正する条例について

問 すでに予約が始まっているが、問題はないか。

答 利用者のため、当初よりこの方法で運営しており問題はない。

平成21年度合志市一般会計補正予算について
(生涯学習課)

問 各種大会出場補助金の基準は

答 県大会、九州大会、全国大会に出場したときに補助する

問 文化振興費負担金は単年度事業か

答 単年度事業ではあるが、合志市は3年連続の事業である。

平成20年度一般会計歳入歳出決算について
(学校教育課)

問 スクールバス購入事業について

答 平成21年度新規事業として購入計画をしていたが、国の緊急対策事業を使い購入した。

問 不登校の出現率が増加傾向にあるが、教育委員会の見解は。

答 適応指導教室の開設や教育相談員の任用など懸命に努力している。菊池都市全域において増加している。中学1年生に多いため、中一においては35人学級も検討している。

問 奨学金の貸付件数と滞納者は、また口座引き落としはできないか。

答 平成20年度は39名に貸付。滞納者は10数名いる。今年度は徴収回数を増やして回収に努めている。口座振替については、シス

問 平成21年度新規事業として購入計画をしていたが、国の緊急対策事業を使い購入した。

問 不登校の出現率が増加傾向にあるが、教育委員会の見解は。

答 適応指導教室の開設や教育相談員の任用など懸命に努力している。菊池都市全域において増加している。中学1年生に多いため、中一においては35人学級も検討している。

問 奨学金の貸付件数と滞納者は、また口座引き落としはできないか。

答 平成20年度は39名に貸付。滞納者は10数名いる。今年度は徴収回数を増やして回収に努めている。口座振替については、シス

平成20年度合志市一般会計決算について
(高齢者支援課)

問 高齢者住宅改修助成事業の利用者が少ないのは周知不足か。

答 在宅の要介護認定者がいる世帯で70万円を限度額として、在宅での自立支援・寝たきり防止、介護者の負担軽減のものだが、介護保険の在宅改修以上に改造したい人の制度で、ハードルが高い。

問 放課後児童保育助成事業は何名利用しているのか。

答 対象が7学童保育クラブで、419名が利用しています。

問 特定検診、特定保健指導検診の状況と問題点は。

答 各医療保険者が実施になりまます。いろいろ制度が変わり、今までは市民全員を対象としてきた健康づくりがそれぞれの保険者によって戸惑っています。

問 生活保護事業の内容は。

答 医療補助費は入院や通院、薬剤の費用です。介護補助費は介護サービスを受けている方にこちらから負担する分、個人負担分を生活保護で負担する。教育補助費は小・中学校までの学習支援です。正業扶助費は合志市の場合、高

平成20年度合志市一般会計決算について
(生涯学習課)

問 西合志郷土資料館と合志市歴史資料館の統合計画は

答 庁舎のあり方とも絡んでおり、大変難しい問題だ。22年度までに方向性を打ち出した。

問 子ども会や歴史、伝統、文化関連の予算は増額できないか。

答 どの予算も一律に減額されており、増額は難しい。

問 総合運動公園改修事業の計画は。

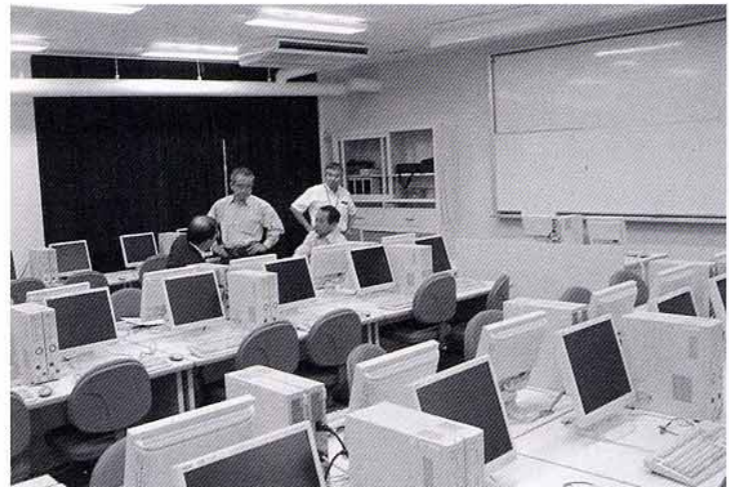
答 21年度は駐車場の整備を行い、今後スコアボードや雨天練習場の改修を計画している。

問 グラウンドなどの体育施設のトイレの汚れが目立つ。何とかできないか。

答 使用後の後始末や掃除の徹底などを強く指導する。

問 ハンセン病問題を正しく理解するため、市役所職員もボランティア講座に参加できないか。

答 教育委員会の職員をボランティア講座に参加させ、恵楓園の案内が出来るような体制をとりたい。



パソコン教室 (西合志南小)

問 人権ふれあいセンター及びび生文化会館の今後の運営展望について

答 両施設は同和問題の早急な解決と人権教育の普及啓発の拠点として設置され今日に至っている。しかし、施設利用者は、高齢化、少子化、また、若者の流出によって年々減少傾向にある。今後は利活用の促進を図るため、運営方法を再検討する必要がある。そして地域住民の健康や福祉の増進、伝統文化芸術の継承など、幅広い利用形態となることが急務である。

健康福祉常任委員会

合志市立診療所の設置に関する条例について
(職員)の体制は。

問 行動計画を策定中ですが対策部を8部作り、発熱外来は健康福祉部、出納部、機動部という形で全部で130人位の職員は位置を予定し、約4割の欠勤を想定し、残った約80人で対処したい。

合志市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

問 出産費用を引き上げると、出産費用も上がるイタチゴッコでは

答 出産費が大都市圏と地方では格差があり、都会の出産費用は35万円では足りないで全国的に4万円上げた。

平成21年度合志市一般会計補正予算について
(高齢者支援課)

問 先進的整備事業の基準と補助金は何か。

答 消防法が27.5m以上と改正があり、カトレア会とヒューマンケアの2ヶ所にスプリンクラーを配置します。

合志市立診療所 (ふれあい館)



合志市立診療所 (ふれあい館)

平成21年度合志市老人特別会計補正予算について
(福祉課)

問 認知症地域支援体制構築と推進事業は県のモデル事業だが、ずっと続けるのか。

答 継続させる必要があり、新たに出来ないものもあるが、社会福祉協議会が行っているサービスと繋ぎ合わせ継続しやすい内容を考えていく。

平成21年度合志市国民健康保険特別会計補正予算について
(福祉課)

問 安全生活創造事業は高齢者支援課と関連し、連携してほしい。

答 関係課併せた会議も含めて、内容を詰めていきたい。

平成21年度合志市国民健康保険特別会計補正予算について
(福祉課)

問 社会保険診療報酬支払い基金との兼ね合いは。

答 社会保険診療報酬支払い基金は全ての保険を束ね、全国の医療費の状況を見て市の負担額が決定され、それに基づき補正を行った。

平成21年度合志市老人特別会計補正予算について
(福祉課)

問 認知症地域支援体制構築と推進事業は県のモデル事業だが、ずっと続けるのか。

答 継続させる必要があり、新たに出来ないものもあるが、社会福祉協議会が行っているサービスと繋ぎ合わせ継続しやすい内容を考えていく。

平成20年度合志市一般会計決算について
(高齢者支援課)

問 高齢者住宅改修助成事業の利用者が少ないのは周知不足か。

答 在宅の要介護認定者がいる世帯で70万円を限度額として、在宅での自立支援・寝たきり防止、介護者の負担軽減のものだが、介護保険の在宅改修以上に改造したい人の制度で、ハードルが高い。

問 放課後児童保育助成事業は何名利用しているのか。

答 対象が7学童保育クラブで、419名が利用しています。

問 特定検診、特定保健指導検診の状況と問題点は。

答 各医療保険者が実施になりまます。いろいろ制度が変わり、今までは市民全員を対象としてきた健康づくりがそれぞれの保険者によって戸惑っています。

問 生活保護事業の内容は。

答 医療補助費は入院や通院、薬剤の費用です。介護補助費は介護サービスを受けている方にこちらから負担する分、個人負担分を生活保護で負担する。教育補助費は小・中学校までの学習支援です。正業扶助費は合志市の場合、高



筋力トレーニング (ユーパレス弁天)

平成20年度合志市国民健康保険特別会計決算について
(福祉課)

問 一人当たりの医療費は伸びているのか、また、要因は。

答 一人当たりの医療費は、10割分で平成19年度が25万8002円、平成20年度が30万7385円で19・1%の伸びです。市の医療費が高いのは、脳血管疾患・循環器系疾患・癌ですが、それ以外に人工透析・尿欠石症・歯科の医療費が高い。

意 審査の過程で各課とも補助金事業で利用実績ゼロの項目が目立ちました。担当課は、常に問題意識を持ち、なぜ利用されないのか、似通った事業の整理を行、関係各課と連携し、継続・休止・廃止も含めて検討する必要があります。